

令和6年7月12日

学校だより NO. 6

緑丘中だより

北九州市立緑丘中学校 校長 井上 要
ホームページ <https://www.kita9.ed.jp/midorigaoka-j/>



生徒総会がありました

7月4日（木）に、生徒総会を実施しました。ビデオ会議アプリの Teams（ティームズ）を使い、生徒会執行部が配信する議事を、生徒は各教室の TV モニターで同時視聴しました。

活発な意見が出て、緑中をさらにレベルアップしていくとするよい機会になったと思います。総会は皆さんで民主的に話し合って決めていくことが基本です。そのスタイルや型を学んで、学活などでも活用してください。

総会で議題になった項目の中で、「靴下の色にグレーを加えてほしい」などの校則に関するものがいくつかありました。

「校則の見直し」の目的は、生徒が自ら自律した規範意識を育むことです。「何でもいい」「ルールが無くなった」ということではありません。自分たちでいい緑中を創っていくという意識が芽生えることを期待しています。

今後も生徒会や生徒総会を通して教師と生徒が共同して「校則の見直し」に取り組んでいきます。また、PTA や学校運営協議会等のご意見をいただきながら決定し、ホームページや学校通信等で周知します。



通知表が配布されます

今日から保護者懇談会が始まります。担任との話題の一つに通知表がありますが、1年生にとっては初めての中学校の通知表になります。

「通知表」は、生徒の学校での学習や生活の様子について記述したものです。学習では、基礎的・基本的な内容の定着の様子が分かるように3観点で、観点別に評価しています。

【観点別評価について】

各教科の評価の基準に照らして、

A：十分に満足できると判断されるもの

B：おおむね満足できると判断されるもの

C：努力を要すると判断されるもの の3段階で評価しています。

観点別評価のもとになる資料は、授業での観察・評価（授業態度、技能、発表等）、提出物、ノート、レポート、作品、定期考査、小テスト、自己評価等です。4月の授業開きで生徒へは各教科担任から説明しています。

【評定について】

観点別評価の資料を総合して、5段階の絶対評価（目標に準拠した評価）で表しています。（評定5：十分に満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの、評定4：十分に満足できると判断されるもの、評定3：おおむね満足できると判断されるもの、評定2：努力を要すると判断されるもの、評定1：一層の努力を要すると判断されるもの）

【所見について】

3月の卒業式、修了式で渡す通知表にのみ掲載します。そのため明日からの懇談会では、学校生活でよくがんばったことや努力してほしいこと、係活動や部活動、委員会活動、学級での役割、行事での様子などを学級担任がお話します。